

「2016年度 EC物流委員会 ワーキンググループ活動報告」

- ✓ 毎年6月に実施される「EC物流委員会成果発表会」に向けて、各ワーキンググループの活動が活発化しています。
- ✓ 2017年2月に実施された「中間報告会」の様態をダイジェストでお伝えします。

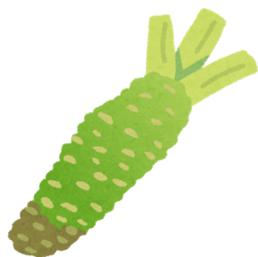
“ワーキンググループ (WG) 1

求められる EC 物流” メンバー7名

架空上の物流事業者を設定し、想定荷主からの EC 物流の要望に応えるためにはどうすればよいかを研究テーマとしました。

WG 1 活動の主人公 仮想物流会社 概要

会社名：山葵 (Wasabi) 運送



売上規模	年商 21 億円	
事業所数	6事業所	
事業所社員	124名 (契約社員含む)	
車両台数	トレーラ	6 台
	牽引台車	6 台
	大型車輛	56 台
	中型車輛	21 台
	小型車輛	11 台
	軽車輛	5 台
	フォークリフト	6 台
	営業用自家用	6 台
		計 117 台

山葵運送の取引相手：仮想荷主会社 概要

■ 会社概要 ■

ECギフト（ふるさと納税返礼品など）を取り扱う会社

以下3温度帯の商品を管理・配送してくれる物流会社を探している。

【常温】お米への要望：精米後1週間以内配送

【冷蔵】加工食品（プリン、ヨーグルト）への要望：賞味期限管理

【冷凍】アイスクリームへの要望：解凍厳禁

共通要望：のし、カタログ、自治体パンフレット同梱

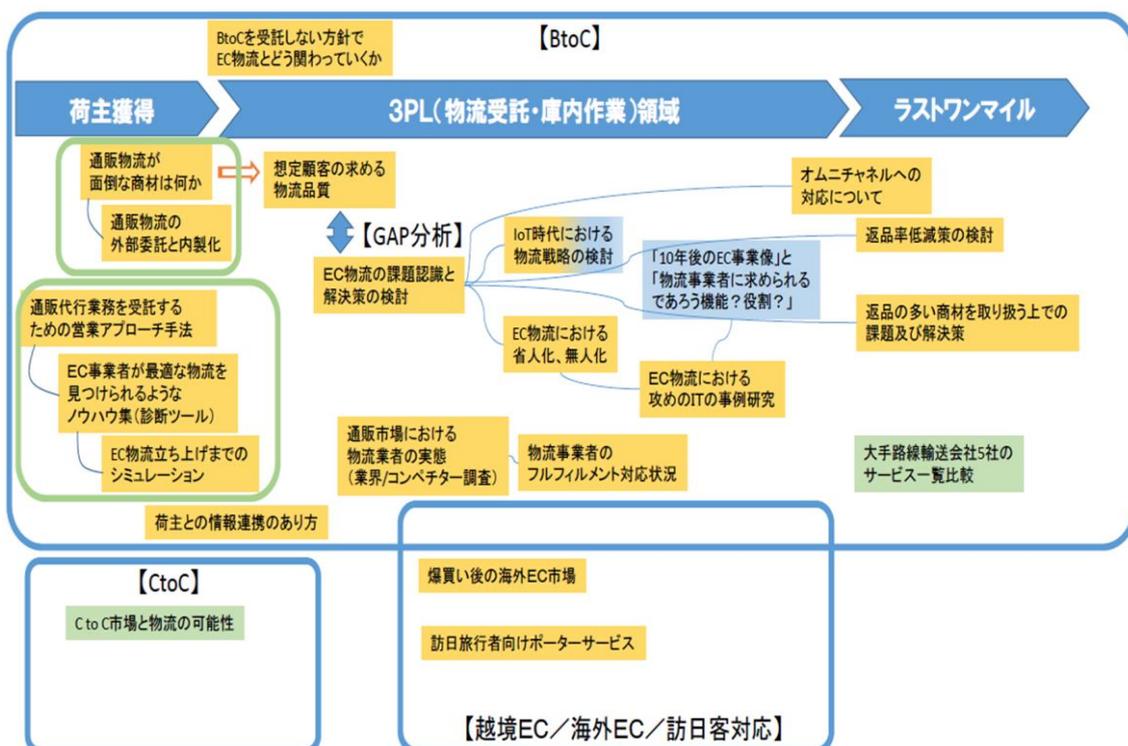
商品入荷後3日以内出荷

- EC物流四階層のうち、一層と二層は自社にて対応済み。
 - 三層以降の対応を希望している。
-

“WG 2 – 1 EC 物流の課題と深堀（1）” メンバー 14名

EC物流で直面する問題や事業拡大にあたり解決しなければならない課題について、調査・研究することになりました。EC販売ニーズの高い食品・衣料品に絞り、B to B 物流との違いについて検討を進めています。

【テーマ俯瞰図】



“WG 2 – 2” EC 物流の課題と深堀（2） メンバー 10名

物流の業際業務にスコープを広げて、レンタル・シェアリングサービスを事業化することでEC物流に貢献できるかどうかの検討を進めています。

仕組み ※4Pで考える

1. 具体的な数字でシミュレーションを行う。
レンタル(レンタルシェアリング)に参加する会社数、商品数、品揃え、倉庫、配送料、人件費等の費用を算出し、損益分岐点を見て、事業化の条件を提示し、3PL協会と事業化の可能性を探っていく。
2. ECの技術を応用活用し、全体的な効率化を図っていきたい。
3. シェアリング(トラックのuber版等)の研究。

マーケティング ※4Cで考える

1. 顧客目線でのニーズを引き出すためにも、引き続きレンタル企業の訪問視察を行う。
2. 取扱い商品・事業家の範囲、出資を募って展開するレンタル・シェアリングについて、SWOT分析、セグメンテーション、ターゲットティング、ポジショニング等更なる深堀りを行う。

～ 主な活動内容 ～

1. 顧客目線でのニーズを引き出すためにも、引き続きレンタル企業の訪問視察を行う
 - ① レンタル会社A社 PCレンタルセンター視察
 - ② レンタル会社B社 現場視察
 - ③ レンタル会社C社 最新施設視察RFIDで備品管理
2. シェアリングの研究
 - ① シェアリングエコノミー協会の取材
 - ② シェアリング関連書籍の勉強会の開催
UXの時代 ～IoTとシェアリングは産業をどう変えるのか～
シェア「共有からビジネスを生み出す新戦略」 等